

# 近況報告会

株式会社 タツミ

代表取締役社長

山本千秋

JASDAQ

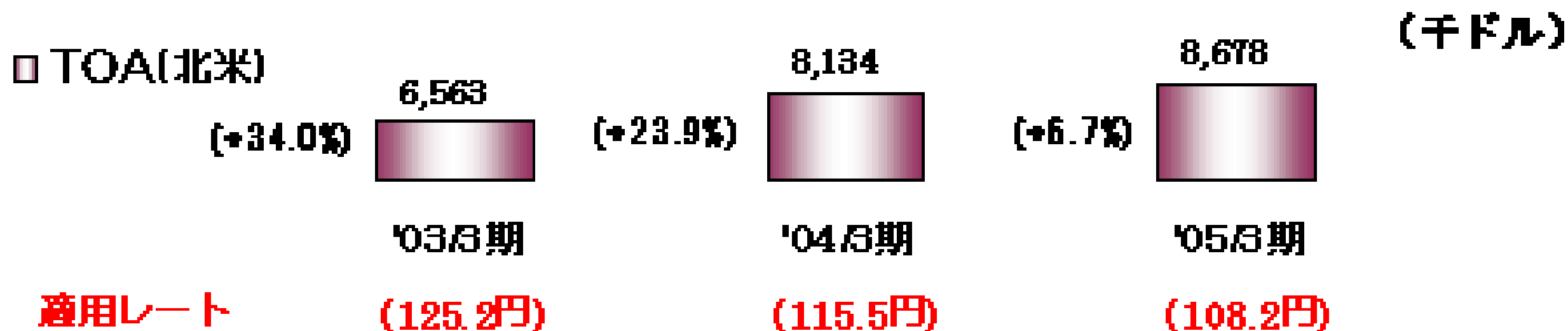
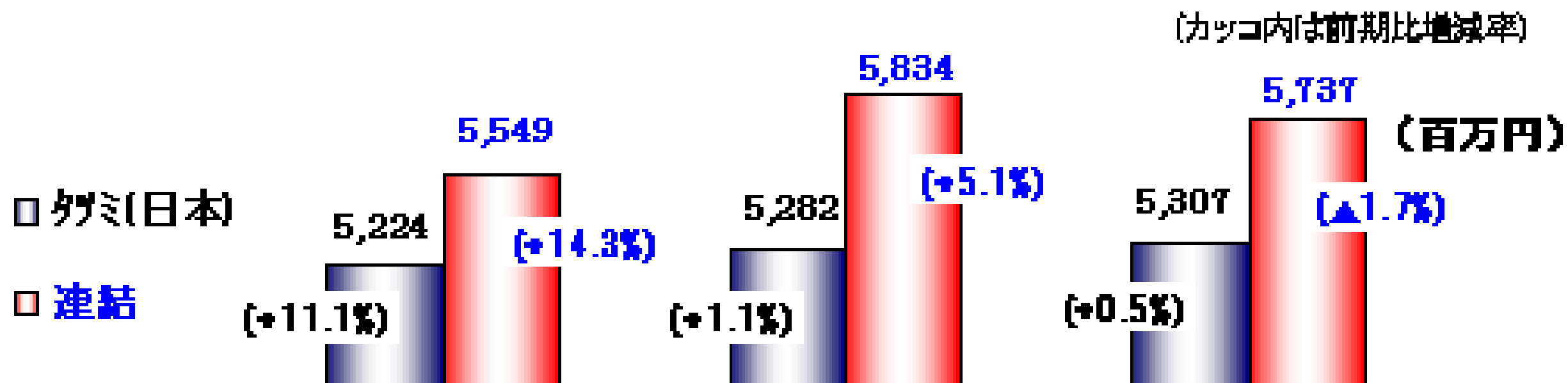
# 本日の報告内容

1. 第5次中期経営業績
  2. 第6次中期経営計画
  3. 2010年ビジョン
- ～質疑・応答

1. 第5次中期経営業績  
(’03年3月期～’05年3月期)  
52期～54期

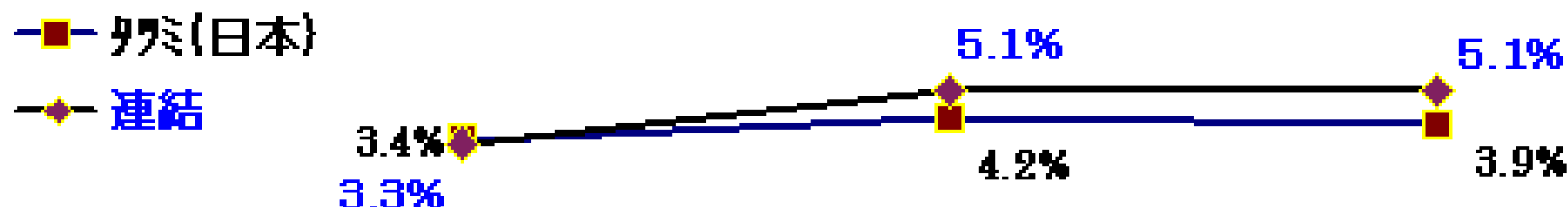
# 【売上高】

'05/3期はタツミ(日本)・TOA(北米)ともに順調



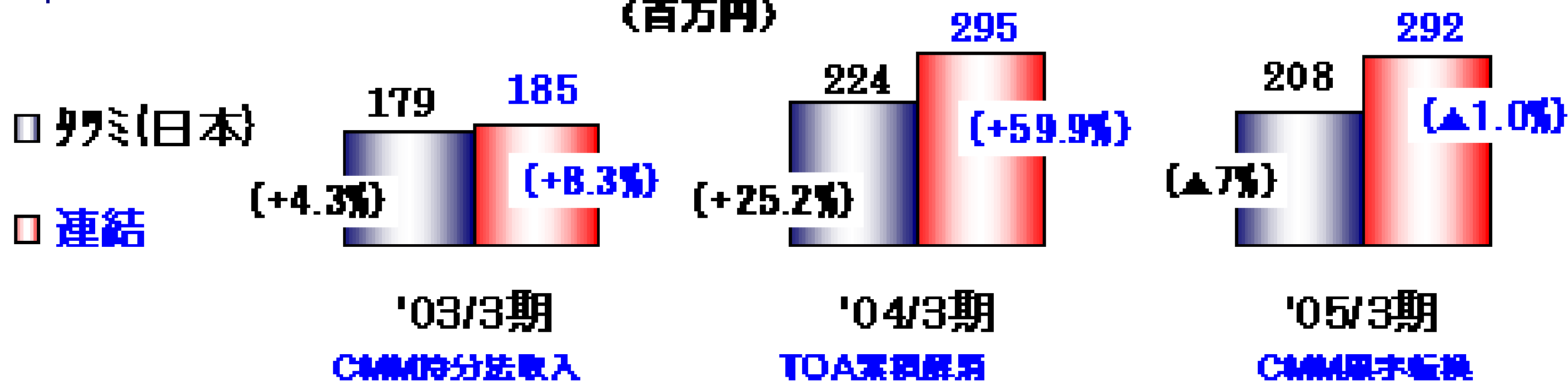
## 【経常利益率】

'05/3期は原材料高騰で減益となるが  
経常利益率は5%台を確保



## (経常利益)

(百万円)



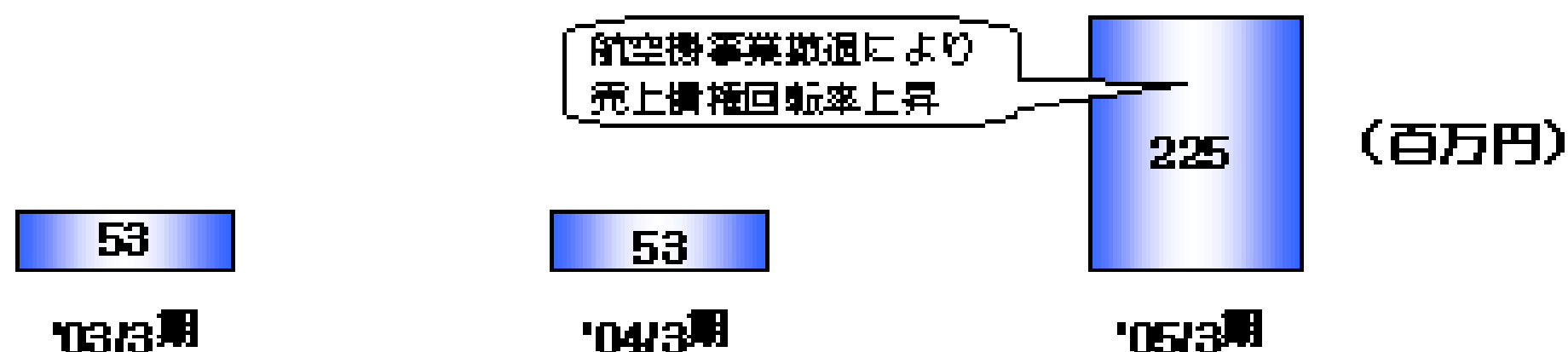
(カッコ内は前期比増減率)

## 【キャッシュ・フロー】

'05/3期航空機事業撤退完了によりフローが改善

### 【フリー・キャッシュフロー】

※フリーC/F(百万円)・・・営業活動C/F(本邦)－固定資産取得(現状維持費)－配当支払

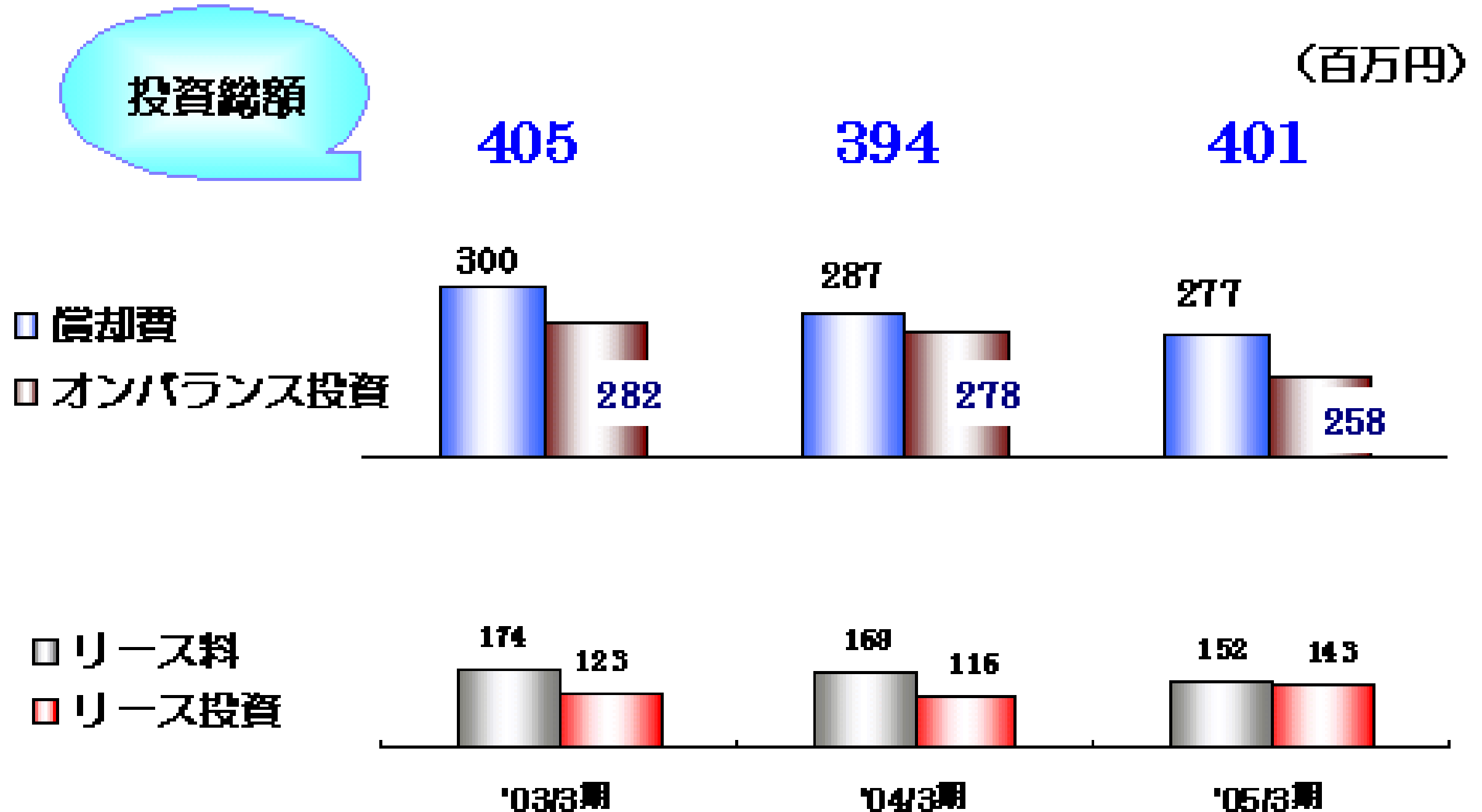


### 【現金・現金同等物期末残高】



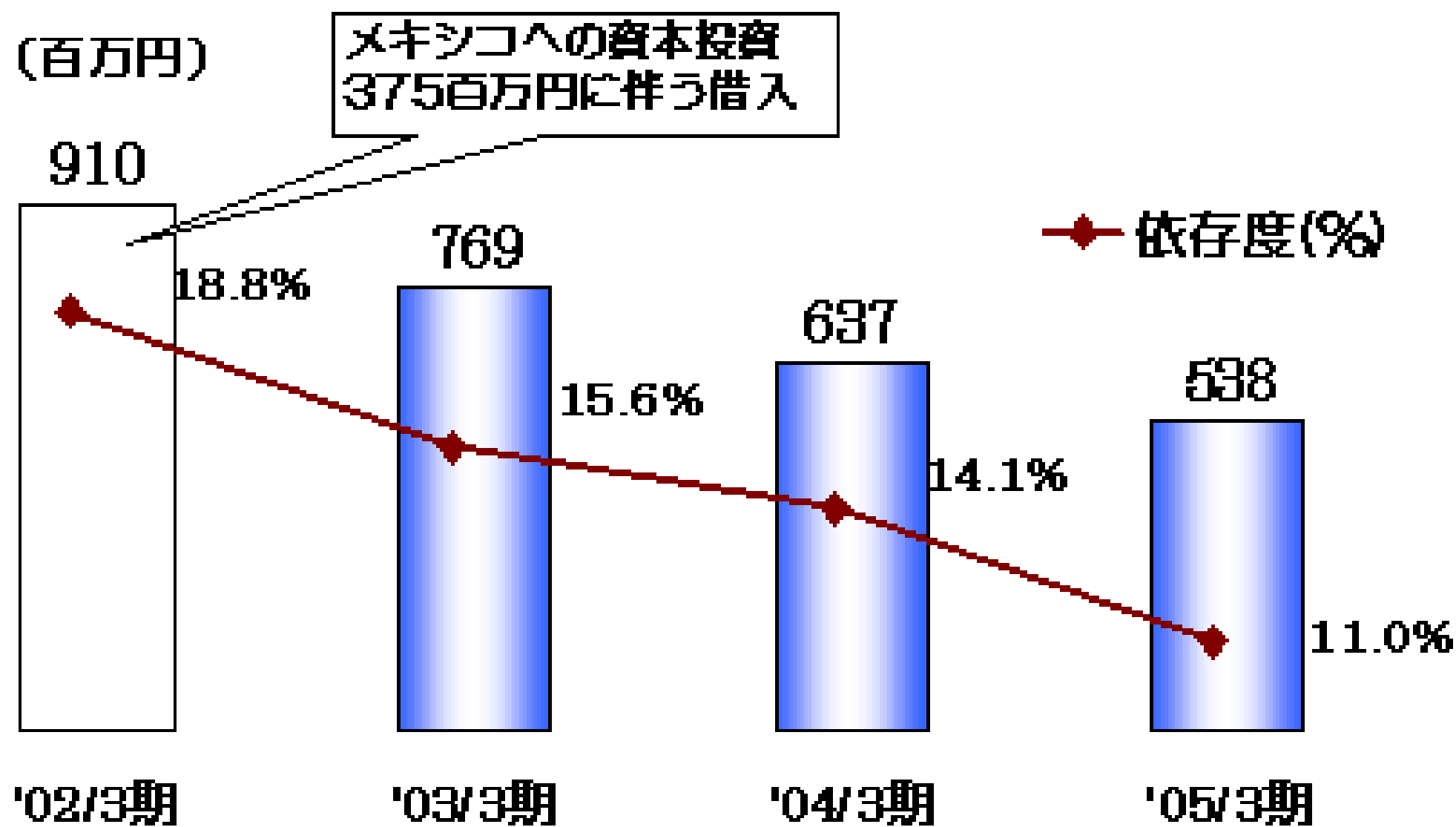
## 【設備投資】

オンバランス投資はすべて償却費の範囲内で実施



## 【有利子負債額・依存度】

'02/'03期以降の長期借入なし、返済進行



※ 有利子負債依存度 (%) = 有利子負債額 / 総資産



# 【重点施策状況】

## 体質強化

### (業務関係)

- ・ **企業理念の制定** (03/3期) → 従業員の意識改革
- ・ **財務システム改革** (03/3期) → ERP (SAP-R3) 導入  
原価計算制度導入(機種別採算管理)  
※ERP・・・経営資源を有効活用・統合管理し、効率化を図るシステム(Enterprise Resource Planning)
- ・ **人事制度改革** (04/3期) → 成果主義評価制度導入

### (生産関係)

- ・ **24H圧造工場** (05/3期) → インフラ整備完了・生産能力向上
- ・ **TPMチャレンジ賞受賞** (05/3期) → 体質改善・設備メンテ自前化  
※TPM・・・設備保全(Total Productive Maintenance)
- ・ **ISO-14001認証取得** (05/3期) → 社会的責任・環境整備

## グループ経営

- ・ **タツミ** → 航空機事業撤退(04/3期) → 自動車事業に特化し生産効率向上
- ・ **TOA** → 累積解消 (04/3期) → '05年より配当開始
- ・ **CMM** → 持分法取入開始(03/3期) → CMM黒字転換(05/3期)

## 【企業理念の制定】

### 企業理念

タツミは、タツミを愛しささえる人々とともに、  
社会と環境に調和した技術の創造を通して、  
お客様に満足と信頼を提供します

### 経営理念

1. 選ばれる企業をめざし、価値ある商品を提供する
2. 固有技術を磨き、市場開発に挑戦する
3. 人を活かし、人に生かされる企業となる

### 行動理念

夢                  挑戦                  スピード

私たちは、夢をもち、果敢に挑戦し、行動のスピードを上げます

2. 第6次中期経営計画  
(‘06年3月期～’08年3月期)  
55期～57期

## 【経営方針】

### 経営方針

1. 品質最優先の取り組みで、お客様の信頼を勝ち取る
2. コスト競争力アップを図り、収益体質を構築する
3. 技術・技能を磨き、固有のノウハウを蓄積・伝承する
4. マネジメントレベルを上げ、期日までにやりきる体質をつくる

### 品質方針

お客様に満足と信頼を提供します

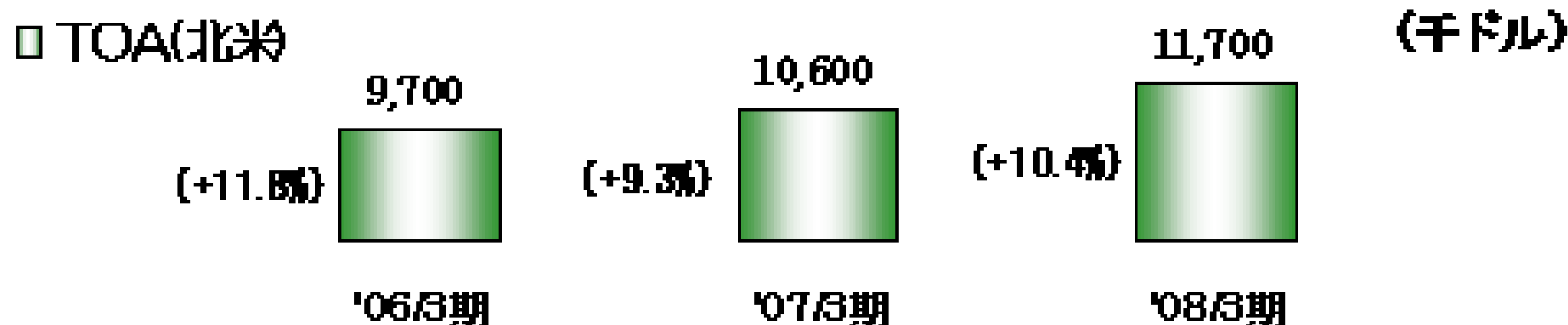
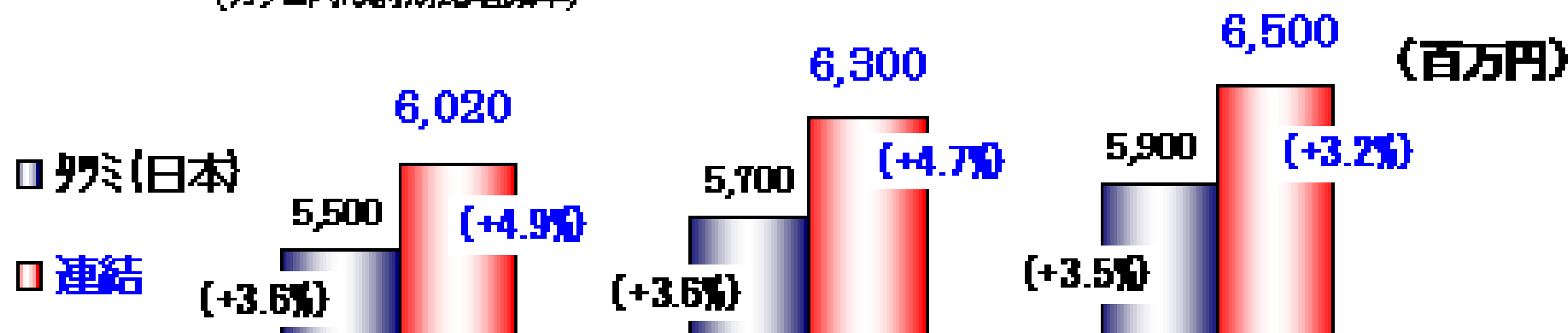
### 環境方針

私たちは、社会と環境に調和した生産活動を通じて、地球環境の保全に努めると共に  
継続的改善を実施いたします

# 【売上高】

拡張戦略推進により'08/3期は連結6,500百万円

(カッコ内は前期比増減率)

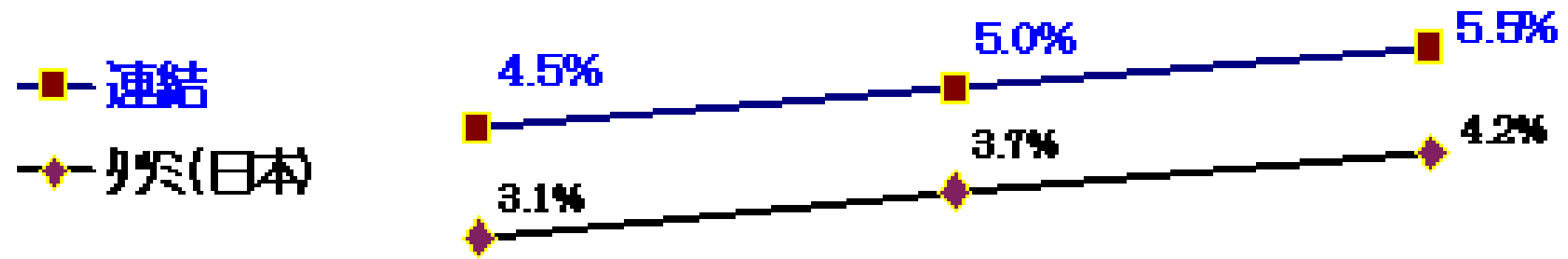


想定シート (105.0円)

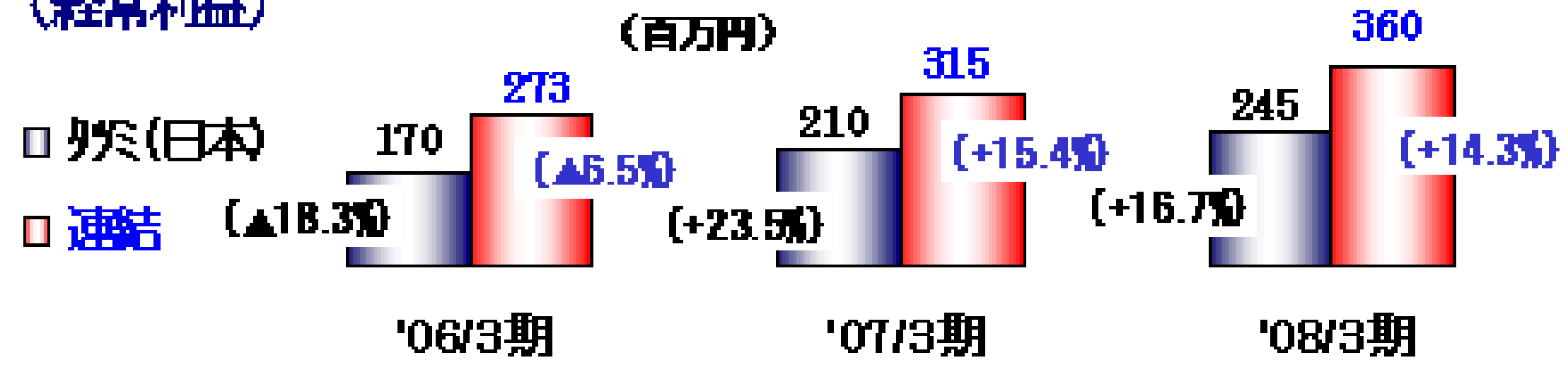


# 【経常利益率】

合理化計画推進により'08/3期は利益率5.5%



## (経常利益)



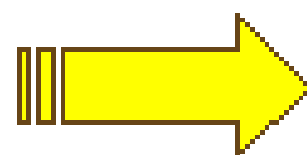
(カッコ内は前期比増減率)

## 【重点目標】

・連結売上高・・・'08/3期 65億円 ('05/3期比“13%増”)

'05年3月期実績

57億円



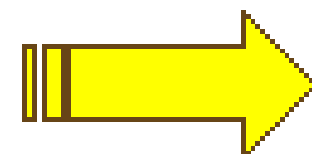
'08年3月期計画

65億円

・連結経常利益率・・・'08/3期 5.5% ('05/3期比“0.4ポイント増”)

'05年3月期実績

5.1%



'08年3月期計画

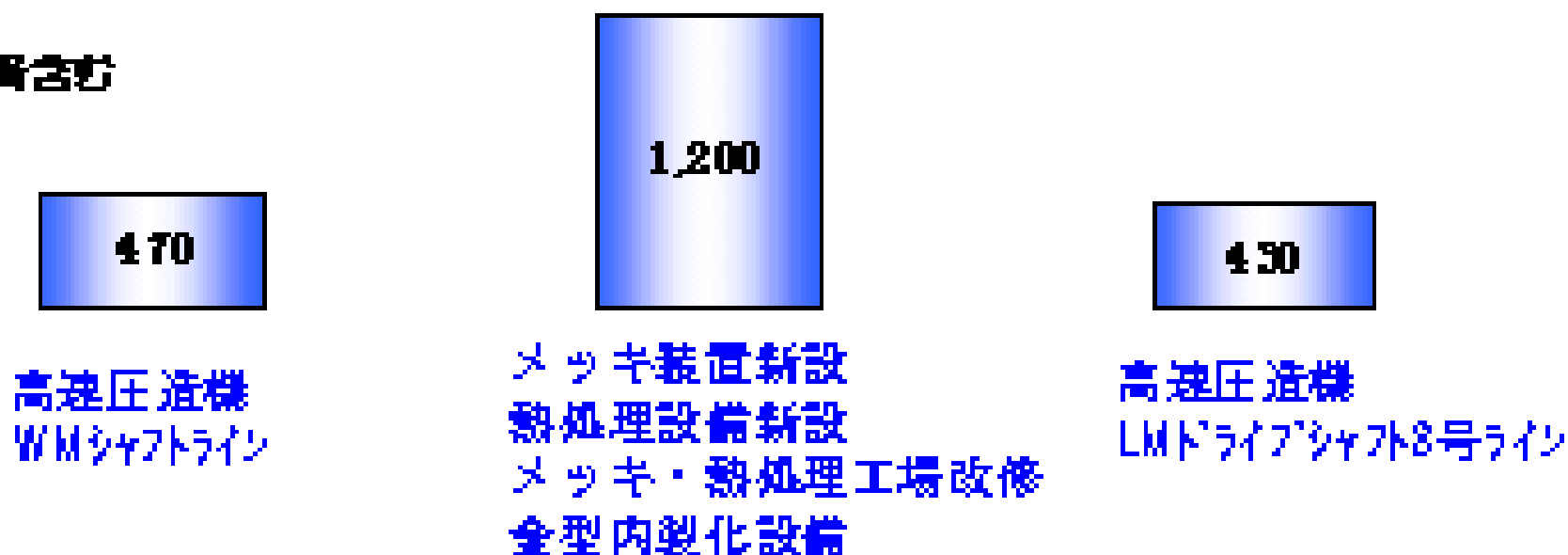
5.5%

# 【設備投資】

（投資総額）

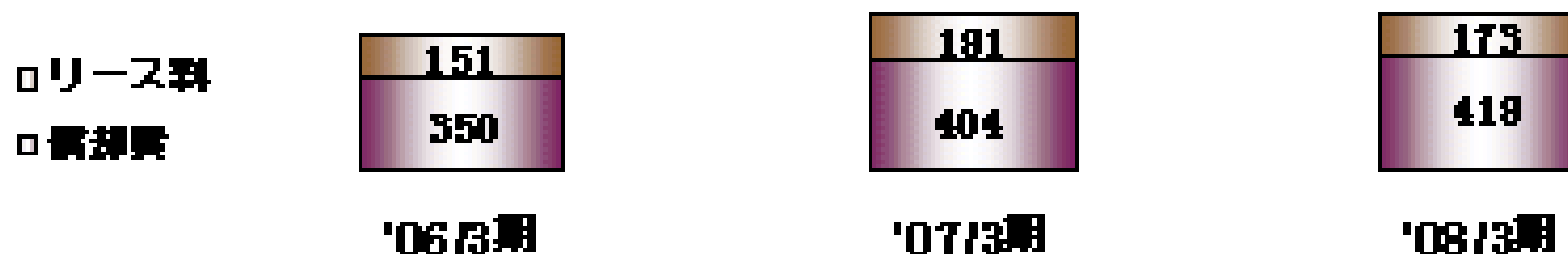
第5次中期 1,200百万円 → 第6次中期 2,100百万円

※リース投資含む



（償却費・リース料）

'06年3月期負担額がピークとなる（'05/'03期比+162百万円）



吸収  
計画

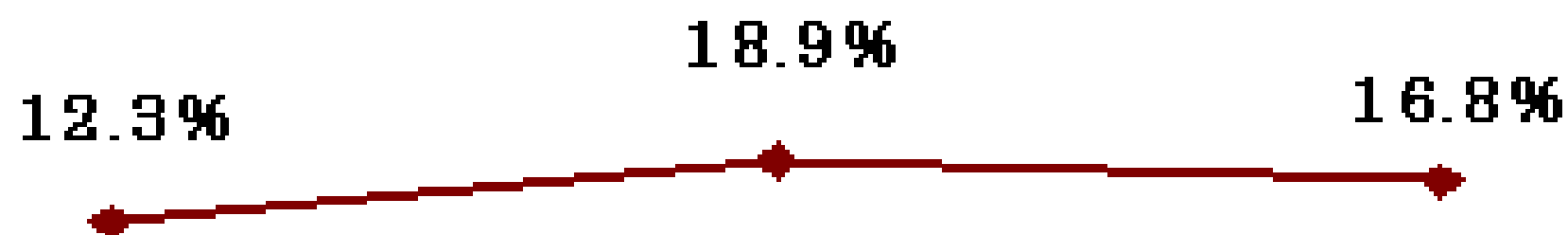
（'05/3期合理化実績197百万円）第6次中期は、  
償却費・リース料の負担増を**毎期300百万円の合理化**で利益確保



## 【有利子負債】

有利子負債依存度20%未滿を維持

## 【有利子負債依存度】



※ 有利子負債依存度 (%) = 有利子負債額 / 総資産

'06/3期

'07/3期

'08/3期

## 【有利子負債額】

百万円



(支払利息)



借入による負担増は、合理化計画で吸収

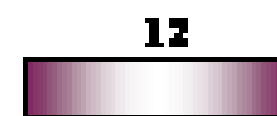
百万円



'06/3期



'07/3期



'08/3期

## 【重点施策目標】

### 拡販

- ・ 戦略製品のコスト競争力向上による拡販体制の構築 ⇒ “成長戦略”

### コスト改善

- ・ 桁違い品質の実現 → 品質コスト1/10
- ・ TPマネジメント推進 → 毎期300百万円の合理化  
※TPマナジメント…目標管理(Total Product Management)
- ・ 金型製作の内製化/つなぎの自前化
- ・ 情報ネットワークの活用 → 間接生産性向上30%

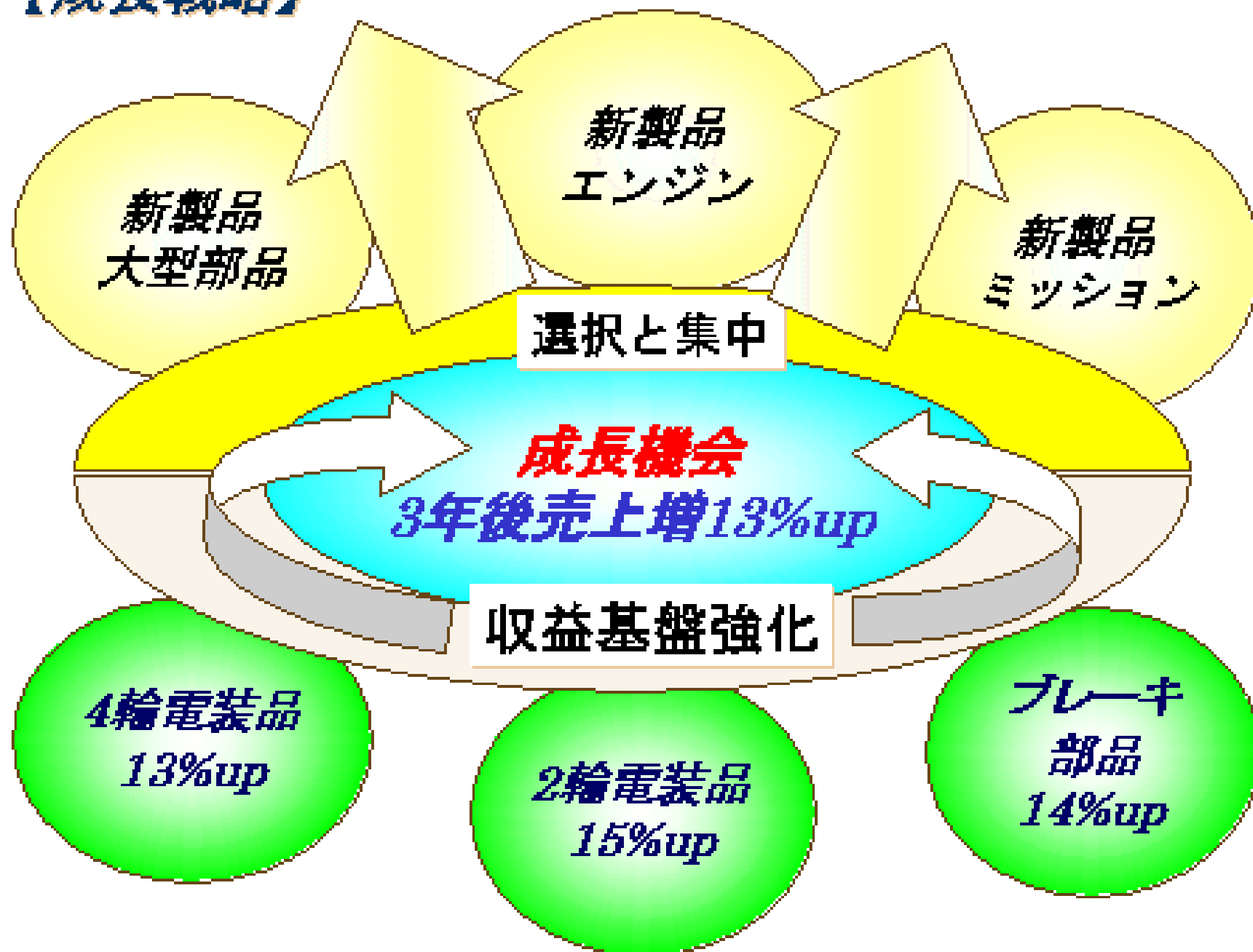
### 体質強化

- ・ TPM優秀賞 → 設備メンテナンスの自前化
- ・ 生産管理システムのレベルアップ → 在庫削減・材料費コントロール
- ・ IR外部情報管理体制および内部管理体制の充実

### グループ経営強化

- ・ T O A → 新規顧客の開拓
- ・ CMM → 累積赤字解消

# 【成長戦略】



## 【成長戦略製品の拡販】

### 電装品用部品(4輪車・2輪車)

- ・シャフト戦略…ギヤ/セレーション付シャフトの拡販(ワイパー系・スタータ系)  
⇒自動車電機工業株のミツバ完全子会社化により主要製品は、今後更に拡販して行く



### ブレーキ用部品

- ・ドラムブレーキ用部品の拡販  
⇒産業機械用アジャスターアッシー・4輪車用アジャスターアッシー
- ・TOAによる北米企業への拡販 ⇒ 既存の日本客先メーカー現地子会社への拡販



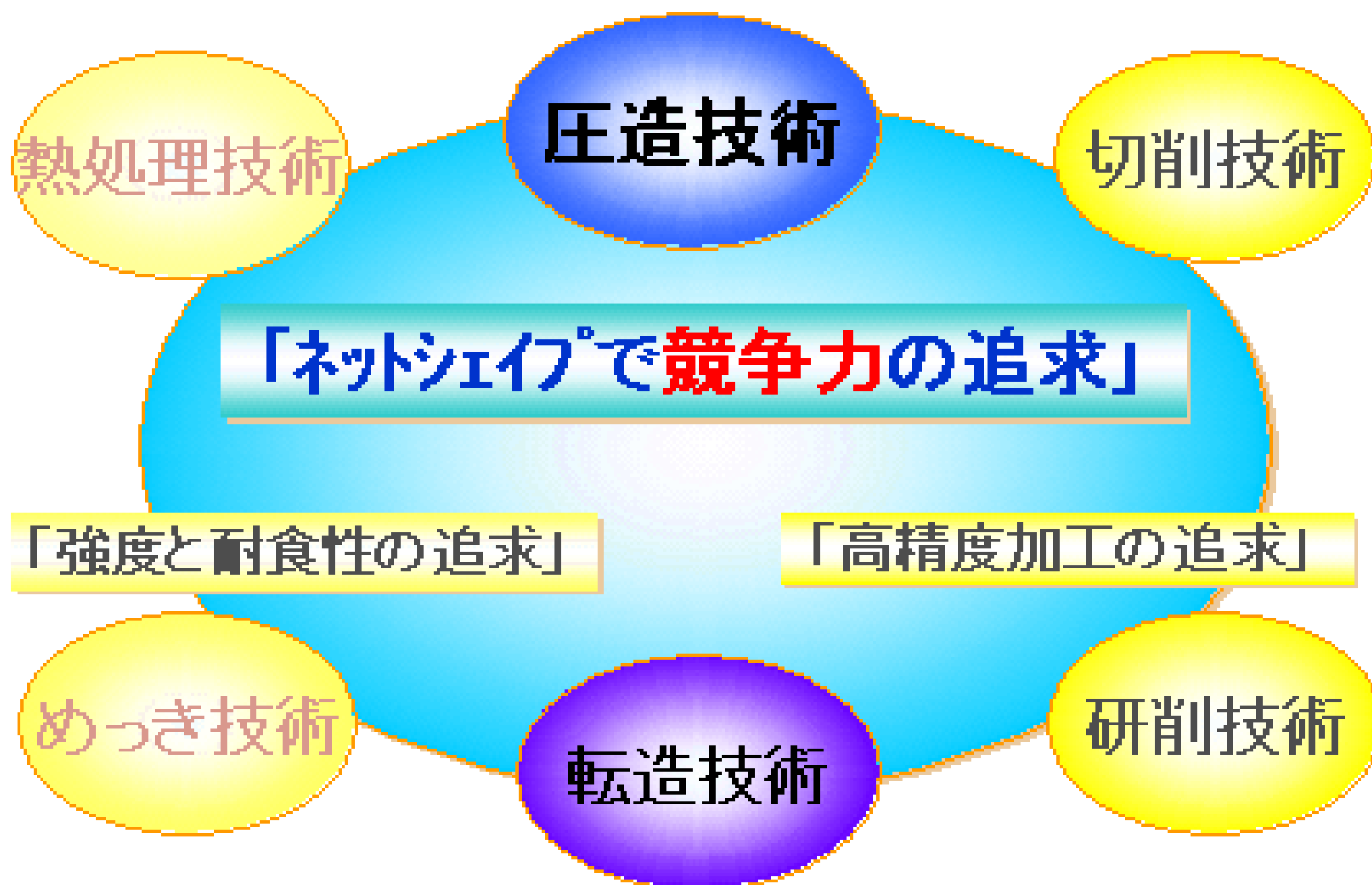
### 新製品獲得

- ・**冷間鍛造**および冷間圧造技術の活用により 拡販  
⇒大型部品(ブレーキ及び駆動用シャフト他)  
⇒エンジン部品(燃料噴射用シャフト及びカムシャフト他)  
⇒ミッション部品(カム及びシャフト他)

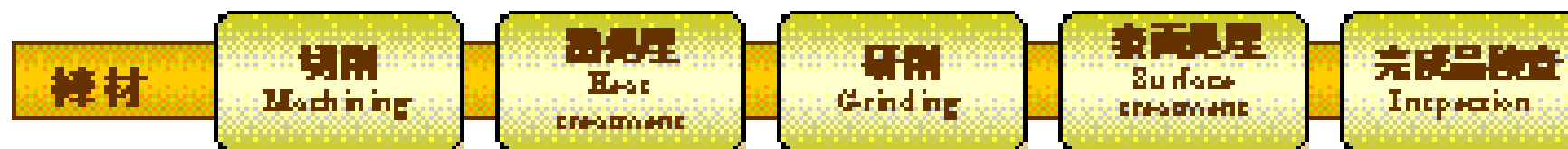
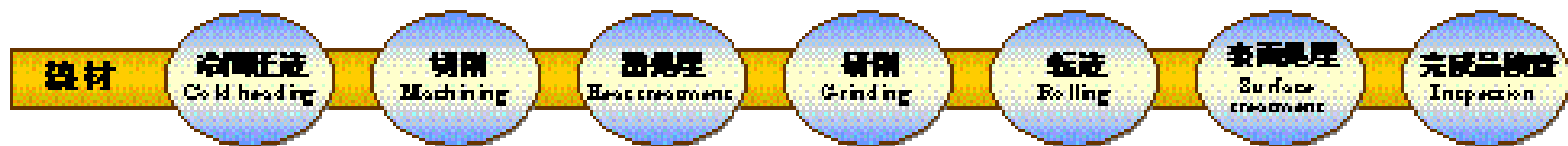


# 【成長戦略を支える技術】

⇒「6つの技術」と「つなぐライン化技術」で



# 【一貫生産システム】



圧造機



NC切削機



熱処理



研削機 (円筒・外円・内円・段材)



転造機 (大転造・平転造・円形転造)



亜鉛めっき装置 (6個⇒3個)

## 【圧造技術の進化】

### ◆◆圧造加工の高速化による生産性向上◆◆

#### 3ダイス3ブローヘッダー



※ SPM…分間加工数

#### 【効果】

加工スピード 4倍

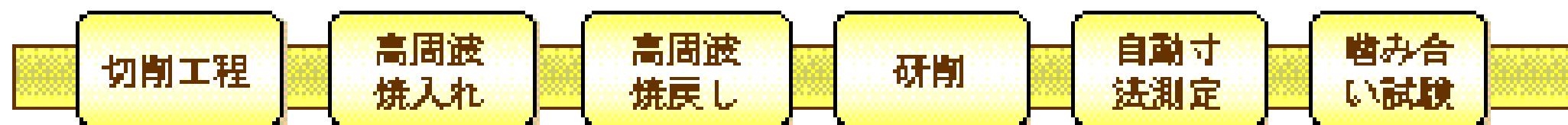
50SPM⇒200SPM

月産 ≒ 140万個



## 【ライン化技術の進化】

### ◆◆ライン化による中間在庫・工数の削減◆◆



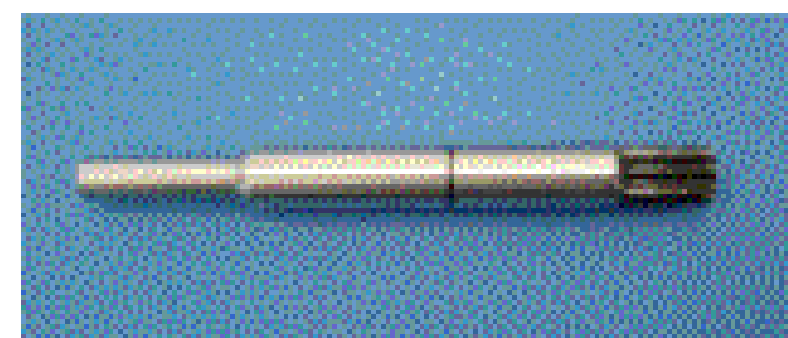
### 2輪電装品用部品(スタータ系)ピニオン(長尺シャフト)加工ライン



#### 【効果】

- ・在庫削減 ≒ ▲70%
- ・工数削減 ≒ ▲50%

月産≒25万個

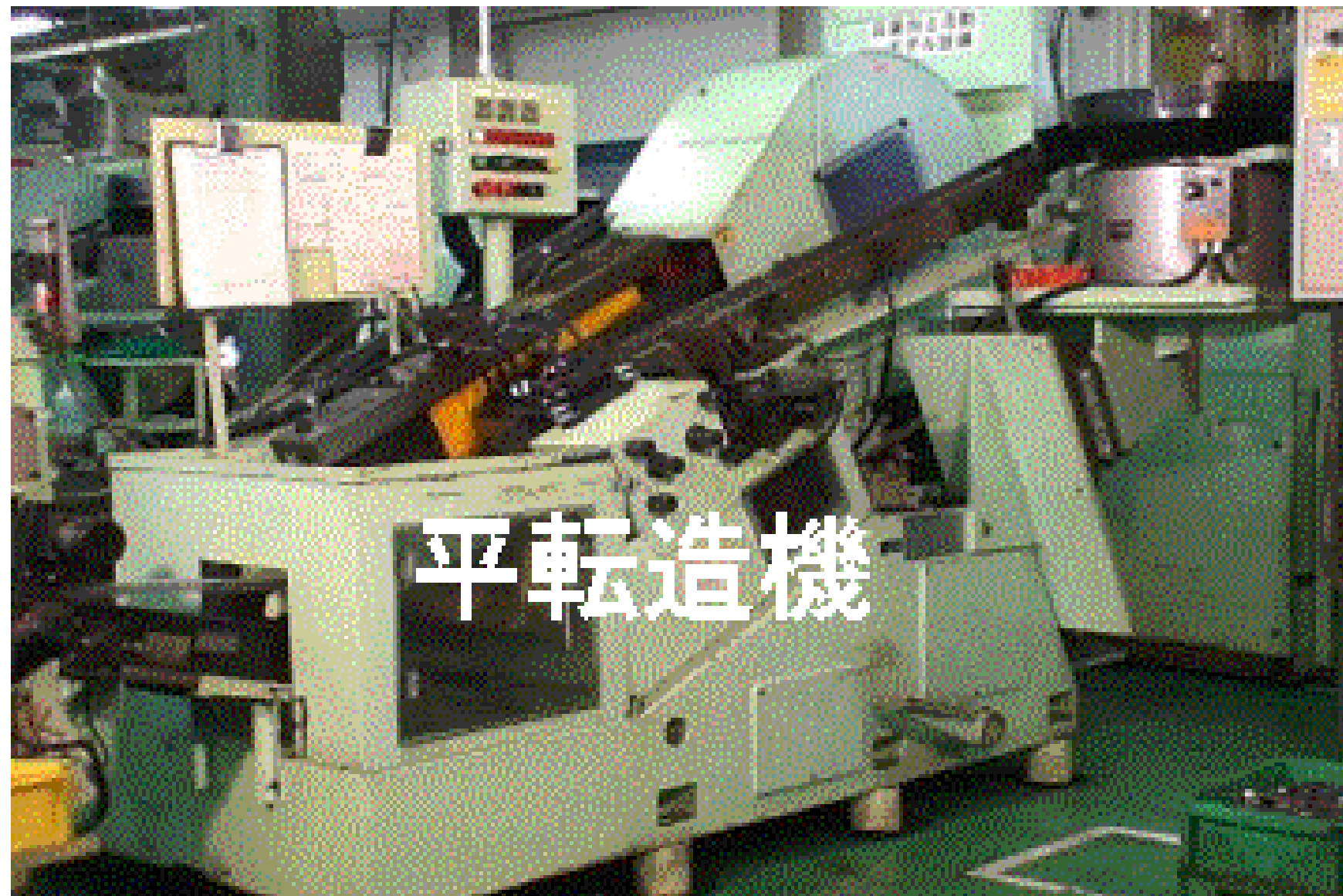




## 【転造技術の進化】

◆◆ねじと溝の同時転造加工による切削工程削減◆◆

フォーム転造加工



【効果】

歩留向上  $\approx$   $\blacktriangle$ 3%

月産  $\approx$  40万sets

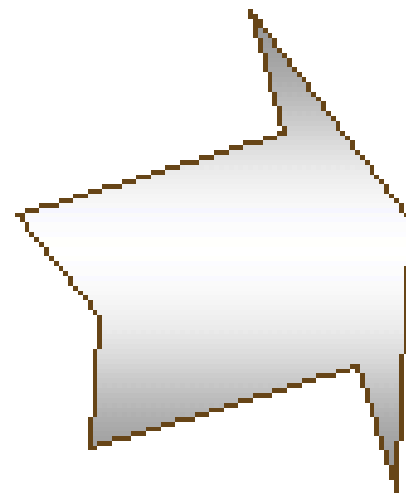


客先と共同出願中

【成長戦略：製品新規獲得への取組み】

⇒7つ目の技術…「冷間鍛造」

◆◆塑性加工の拡充◆◆



### 3. 2010年ビジョン

# 2010年ビジョン

圧造技術をコア・コンピタンスとして、一貫生産をベースに加工技術・技能を進化させ、顧客の期待に柔軟かつ俊敏に応え、選ばれ続ける精密部品メーカーとなる。

## タツミの思い

得意先

信頼を勝ち取る

株主

安定配当

社会

企業の社会的責任

## お客様第一主義

当事者意識を持って提案・行動し、スピードでお客様の期待に応える。

# 2010年ビジョン

《売上高》

‘11年3月期目標

‘08年3月期計画

連結

65億円

80億円

個別

59億円

70億円

JASDAQ中堅企業となるために…

本資料に記載されている当社の業績の予想等は、本資料作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因要素によって予想数値と異なる場合があります。

本資料に関するお問い合わせ

株式会社 タ ツ ミ

業務部

TEL：0284-71-3131

# 「近況報告会」

END

ご静聴ありがとうございました。

株式会社 タツミ